

火気を扱うサタデーサイエンスショーの再開及び事業の安全対策について

1 サタデーサイエンスショーについて

- (1) 事故後、火気を扱うサイエンスショーは中止している。(元素のふしぎな実験は6/25から団体向け体験学習で再開している。)
- (2) 今後はアからエの取組を行い、安全確保を確認した上で、火気等を扱うサイエンスショーを順次再開したいと考えている。

ア サイエンスショーの実験マニュアルの整備

次の項目を網羅した実験マニュアルをサイエンスショー毎に作成する。

- ・準備方法，実験手順
- ・説明内容
- ・使用器具，使用材料
- ・考えられるリスクと対応方法
- ・安全対策上の措置，補助者動作

イ 観覧席との距離の確保

飛散した薬品等が観覧席に届かない実験実施場所の設定等，観覧客と十分な距離を確保する。

ウ 衝立の設置

火気及び薬品を扱う実験については，明らかにリスクが低いと考えられるものを除いて，観覧席との間に衝立を設置する。

エ 演示までの最低練習回数の設定等

- ・実演前にサイエンスショーの動画を複数回見て手順を確認する。
- ・実演前に最低4回補助につく。
- ・実演前に個々の実験全てについて演示の練習を十分に行う。
- ・実演前に通しのリハーサルを最低3回行う。そのうち2回は演示と同量で行う。

2 科学館で実施する全ての事業についての安全対策

科学館で実施する全ての事業について，危険性の再点検を行い，必要な安全対策を講じながら実施している。